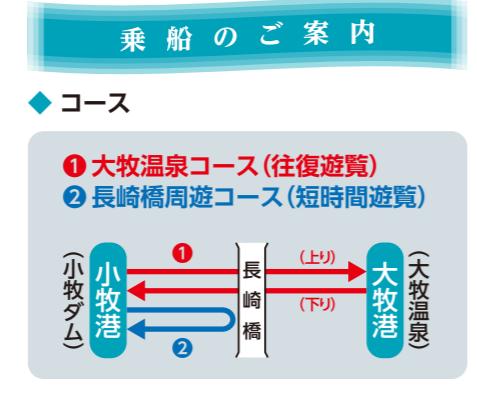




お申し込み・お問い合わせは
庄川遊覧船株式会社
〒932-0304 富山県砺波市庄川町小牧73番地5
TEL.0763-82-0220 FAX.0763-82-0500
ホームページ <http://www.shogawa-yuran.co.jp>



H28.10月改



◆**運賃**

(消費税含む)

コース	区分	往復
大牧温泉コース	大人	2,800円
	小人	1,400円
長崎橋周遊コース (短時間遊覧)	大人	1,000円
	小人	500円

◆**運賃割引**

人数	区分	割引率	
15名様以上	一般団体	1割引	
	学生団体	大人	3割引
		小人	1割引
	付添人	3割引	

※身障者割引あります。

◆**大牧温泉コース貸切船運賃(片道)**

コース	運賃
大牧温泉コース	20名まで36,400円、1名(小兒以上)増える毎に1,820円加算

◆「①大牧温泉コース(往復遊覧)」定期便

●通常ダイヤ (4月1日~11月30日)

	上り	下り		
	小牧港発	大牧港着	大牧港発	小牧港着
1	8:30	9:00	9:10	9:40
2	10:30	11:00	11:05	11:35
3	14:30	15:00	15:10	15:40
4	16:00	16:30	16:35	17:05

●冬ダイヤ (12月1日~1月31日)

	上り	下り		
	小牧港発	大牧港着	大牧港発	小牧港着
1	10:20頃	10:45頃		
2	14:20頃	14:45頃		

●春ダイヤ (2月1日~3月31日)

	上り	下り		
	小牧港発	大牧港着	大牧港発	小牧港着
1	10:20頃	10:45頃		
2	13:50頃	14:15頃		

●春ダイヤ (2月1日~3月31日)

	上り	下り		
	小牧港発	大牧港着	大牧港発	小牧港着
1	9:00	9:30	9:40	10:10
2	11:30	12:00	12:20	12:50
3	14:30	15:00	15:10	15:40
4	16:00	16:30	16:35	17:05

※個人の方は予約不要です。
※大牧港では、大牧温泉旅館に「日帰り予約」「宿泊予約」をしておられる方以外は下船出来ません。
※「大牧温泉コース」で往復遊覧をされる方は、大牧港では下船しないで船内でお待ち下さい。
※大牧港へ乗用車・バスは回送できません。したがって、片道のみの乗船は出来ません。

◆「②長崎橋周遊コース(短時間遊覧)」設定便

●通常ダイヤ (4月1日~11月30日)

	小牧港発	小牧港着
1	9:50頃	10:15頃
2	13:20頃	13:45頃

●冬ダイヤ (12月1日~1月31日)

	小牧港発	小牧港着
1	10:20頃	10:45頃
2	14:20頃	14:45頃

●春ダイヤ (2月1日~3月31日)

	小牧港発	小牧港着
1	10:20頃	10:45頃
2	13:50頃	14:15頃

※個人の方は予約不要です。

◆「②長崎橋周遊コース(短時間遊覧)」予約便

(当日でも可能な場合もありますので、お問い合わせください)

所要時間 … 約25分

出航時間 … 下記の時間帯でご希望の出航時間をお申込み下さい。

- 通常ダイヤ期 … (4月1日~11月30日) → 9:50~15:30の間
- 冬ダイヤ期 … (12月1日~1月31日) → 10:20~14:40の間
- 春ダイヤ期 … (2月1日~3月31日) → 10:20~15:30の間

料金 … 大人1,000円/小人500円(団体割引:15名様以上1割引)

運航人数 … 8名様以上

お申し込み … お申込み日より4日前までにご予約下さい。





新緑

◆施設のご紹介



●駐車場(無料)

駐車場は乗用車40台、大型バス2台。



●自動販売機コーナー

「庄川鉄船の旅」のお供にどうぞ。



●モニュメント「ジョンソンバルブ」

船着場の目印となっています。

「庄川」物語

五箇山地方

庄川上流の五箇山地方は、現在では世界遺産の合掌造り集落が有名で世界からたくさんの観光客が訪れます。40~50年前まではその交通の不便さ故に「島も通わぬ陸の孤島」と呼ばれていました。特に冬は半年近く豪雪に閉ざされ、世間と隔絶した生活を強いられていました。そのため江戸時代には加賀藩の流刑地として利用され、150人の重罪人が送られてきたと言われています。

また、加賀藩は合掌造りの床下を利用した火薬の材料「塩硝」の製造を奨励し、その品質は日本一といわれ藩の財政を助けました。

小牧ダムの建設計画

庄川では、江戸時代(16世紀)以前から、上流の飛騨・五箇山地方の山奥から伐り出した木材を、豊富な水量と急流を利用して流送し、下流で引き上げ全国に売りさばく商売が盛んに行われていました。

木材流送

庄川では、江戸時代(16世紀)以前から、上流の飛騨・五箇山地方の山奥から伐り出した木材を、豊富な水量と急流を利用して流送し、下流で引き上げ全国に売りさばく商売が盛んに行われていました。

小牧ダムの完成

1930年、小牧ダムは高さ79.2m、長さ300.8mの当時東洋一を誇る重力式コンクリートダムとして完成しました。しかし、その後も反対運動(裁判闘争)は続き流血事件にまで発展しました。

船の運航開始

1914年第1次世界大戦が勃発、日本は空前の好景気となり工業の近代化が進み電力需要が高まりました。富山県出身の実業家浅野総一郎が庄川の流れをせき止めて巨大なダムを建設し水力発電を行うことを計画、1919年に電力会社を設立しました。

庄川流木争議

計画が明らかになると庄川流域の人々から建設反対の声が上がり、とりわけ木材業者や流送従事者たちはダムができると木材が流れなくなると、大反対運動を展開しました。

湯治場「大牧温泉

小牧ダムが出来るまでの大牧温泉は、江戸時代(16世紀)以前から、河原に露天風呂のある、万病に効果のある湯治場として人気がありました。

大牧温泉観光旅館

1930年、ダム湖となって源泉が水没したため現在地に建物を新築し、1931年から「大牧温泉観光旅館」として営業を再開しました。陸路では行けなくなったため、木材を曳航する船でお客さまを送迎するようになりました。その後もテレビのサスペンスドラマの舞台として幾度も取り上げられたこともあり、現在でも全国からたくさんのお客様が訪れます。